

4. 水道以外の水（ペットボトルやウォーターサーバーの水等）飲用者の意識

4.1. 普段飲み水として入手している水

水道水に不満をもっている集合住宅居住者であるが、周囲の買い物環境（最もよく使う場所）については 16.6%程度の方しか不便意識を感じていなかった。このような中で「水を買う物する」という意識について調べてみたのが本章である。

表 14.年齢別水道以外の水入手者数

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
市販のボトルドウォーター(ペットボトル)	81	81.0%	79	79.0%	77	77.0%	66	76.7%	303	78.5%
ウォーターサーバーの水	6	6.0%	11	11.0%	9	9.0%	7	8.1%	33	8.5%
スーパーにある持ち帰り用の水	8	8.0%	5	5.0%	7	7.0%	5	5.8%	25	6.5%
井戸水	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	2	0.5%
その他	4	4.0%	5	5.0%	7	7.0%	7	8.1%	23	6.0%
総計	100		100		100		86		386	

全体では「市販のボトルドウォーター（ペットボトル）」が 78.5%であったが、少数ながら「ウォーターサーバーの水」が 8.5%、「スーパーにある持ち帰り用の水」が 6.5%と続いている。

年齢別にはほとんどばらつきは見られない。

「その他」を選んだ回答は以下のようなものであった。

- ・ろ過器を使用
- ・浄水器
- ・アルカリイオン整水器の水
- ・水道水をろ過し、ミネラルウォーターにして飲む
- ・山梨県の山間地域の水道水を汲んでくる
- ・自宅の水
- ・水道水をわかす
- ・ボトルドウォーターとスーパーの持ち帰りと両方
- ・宅配水

4.2. 普段自宅で使う飲み水をどこで入手しているか

では、こうした水道水以外の水を、回答者はどこで手に入れているのだろうか。「あなたは普段ご自宅で飲み水として使っている水を、主にどこで手に入れていますか」と質問した結果が次の通りである。

表 15. 水道以外の水の種類と入手場所のクロス構成比

	市販のボトルドウォーター(ペットボトル)	ウォーターサーバーの水	スーパーにある持ち帰り用の水	井戸水	その他
スーパー	47.2%	2.1%	6.0%	0.5%	0.3%
コンビニエンスストア	3.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
ドラッグストア	3.9%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%
個人商店	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
移動販売	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宅配(生協等)	4.9%	4.4%	0.0%	0.0%	0.3%
通信販売(テレビショッピング、ネット通販等)	17.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%
その他	2.1%	0.3%	0.3%	0.0%	4.7%

表 9 では、97.7%が普段の食品や日用品をスーパーで行っているが、「水道以外の水」となると様相が異なってくる。表 15 を見ると、一番高いのは「市販のボトルドウォーター(ペットボトル)」を「スーパー」で買うのが 47.2%である。次は同じく「市販のボトルドウォーター(ペットボトル)」を「通信販売(テレビショッピング、ネット通販等)」で入手するケースで 17.1%となっている。次は「スーパーにある持ち帰り用の水」を「スーパー」で入手するケースで 6.0%と続く。

「宅配(生協等)」「通信販売(テレビショッピング、ネット通販等)」で「市販のボトルドウォーター(ペットボトル)」や「ウォーターサーバーの水」を入手するケースのみを合わせると 27.2%になる。表 9 では、普段の食品や日用品の入手に「通信販売」を 43.3%が、また「宅配(生協等)」も 21.8%が利用していたが、それに比べると低い水準と言えるだろう。しかしそれは、宅配水や通信販売による水入手の潜在的な増加率が見込まれるという見方もできるかもしれない。

では、水道以外の水の入手場所について年齢差はあるのだろうか。

表 16. 水道以外の水入手場所、年齢別構成比

	40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
スーパー	61	61.0%	49	49.0%	57	57.0%	49	57.0%	216	56.0%
コンビニエンスストア	3	3.0%	7	7.0%	2	2.0%	2	2.3%	14	3.6%
ドラッグストア	5	5.0%	5	5.0%	4	4.0%	4	4.7%	18	4.7%
個人商店	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
移動販売	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宅配(生協・ウォーターサーバーなど)	9	9.0%	9	9.0%	9	9.0%	10	11.6%	37	9.6%
通信販売(テレビショッピング・ネット通販など)	17	17.0%	21	21.0%	21	21.0%	13	15.1%	72	18.7%
その他	4	4.0%	9	9.0%	7	7.0%	8	9.3%	28	7.3%
総計	100		100		100		86		386	

「スーパー」で入手するのが 40 歳代で 61.0%、50 歳代になると一番低く 49.0%となっている。

また、高齢になるにしたがい「宅配」と「通信販売」が増えると予想していたが、実際の回答を見ると年齢に関係無く約 3 割の回答者が利用している。

「その他」として挙げられた主な回答は次の通りである。

- ・自動販売機

- ・町内会で入手
- ・ディスカウントショップ

4.3.入手した水を、自宅までどのように運ぶか

水を購入した場合、それを回答者は自宅までどのような手段で運ぶのだろうか。「あなたが普段手に入れている水を、普段、店からどのように自宅まで運びますか」と質問した結果が、次の通りである。

表 17.入手した水の年齢別運搬方法

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
自分で歩いて運ぶ	37	37.0%	26	26.0%	28	28.0%	22	25.6%	113	29.3%
自分で自動車で運ぶ	12	12.0%	13	13.0%	16	16.0%	8	9.3%	49	12.7%
自分でバイクで運ぶ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%	2	0.5%
自分で自転車で運ぶ	16	16.0%	24	24.0%	17	17.0%	14	16.3%	71	18.4%
自分で公共交通機関(電車・バス等)を利用して運ぶ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%	2	0.5%
業者によって宅配する	27	27.0%	31	31.0%	28	28.0%	27	31.4%	113	29.3%
同居人が買ってくる	5	5.0%	1	1.0%	4	4.0%	5	5.8%	15	3.9%
その他	3	3.0%	5	5.0%	7	7.0%	6	7.0%	21	5.4%
総計	100		100		100		86		386	

全体として見ると「自分で歩いて運ぶ」と「業者によって宅配する」がともに 29.3% となっている。店頭で入手しそれを宅配するサービスも多くの小売店で取り入れていることから、それをも含んだ回答と思われる。次に多いのが「自分で自転車で運ぶ」で 18.4% となっている。

年齢別に見ると「自分で歩いて運ぶ」で「40歳～49歳」で 37.0%だが、50歳代になると 26.0%と 11.0ポイント下がり、以降の年代でも同水準となっている。

「業者によって宅配する」は年齢が高くなるにつれて増えると予想したが、実際には年齢に左右されず、各年齢とも約 3割存在していることがわかる。

4.4.家から水を購入する店までの時間

入手した水を家まで運ぶ時間はどの程度なのだろうか。「業者による宅配」「その他」を除いた方に「あなたの家から普段、あなた（または同居人の方が）水を購入する店まで何分ぐらいかかりますか？家から店舗までの全体の時間をお答えください」と質問した結果が次の通りである。

表 18. 家から水を購入する店までの時間

	歩き		自動車		バイク		自転車		公共交通機関		同居人	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
5分以内	82	72.6%	17	34.7%	1	50.0%	43	60.6%	0	0.0%	5	33.3%
6分～10分	24	21.2%	18	36.7%	1	50.0%	22	31.0%	1	50.0%	5	33.3%
11分～15分	6	5.3%	5	10.2%	0	0.0%	5	7.0%	1	50.0%	1	6.7%
16分～20分	1	0.9%	5	10.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%
21分～25分	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
26分～30分	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	2	13.3%
31分以上	0	0.0%	3	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	113		49		2		71		2		15	

「歩き」では「5分以内」が 72.6%、「6分～10分」が 21.2%となっており、両方を合わせた 93.8%の回答者が 10分以内を運ぶ時間として回答している。「自転車」でも 91.6%の回答者が 10分以内と答えている。「自動車」だと 30分を越す回答者も存在する。

現代の水運びに要する時間は、徒歩あるいは自転車で共に 10分以内ということが目安になっていることがわかる。

4.5.水を入手して持ち帰るのに負担を感じるか

表 17 で自分で運んでいる回答者、すなわち「業者によって宅配する」「その他」を除いた 252 名の方に、「あなた（または同居人の方）は普段水を入手して家に帰るのに負担を感じますか」と質問し、自分で行う水運びに負担感を感じるかどうか質問した結果が次の通りである。

表 19.水を入手して持ち帰る時の負担感年齢別回答者

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
負担を感じる	32	45.7%	21	32.8%	17	26.2%	9	17.0%	79	31.3%
負担を感じない	38	54.3%	43	67.2%	48	73.8%	44	83.0%	173	68.7%
総計	70		64		65		53		252	

全体で見ると「負担を感じる」のは 31.3%、「負担を感じない」が 68.7%であった。3 人に 2 人は現代の水運びに負担を感じていないという回答である。一見すると低く見えるかもしれない。しかし、表 12 で「食品や日用品等を普段購入する場所に不便を感じる」が 16.6%、「不便を感じていない」が 83.4%であったことと比較すると、水を入手する負担感が高いと解釈すべきではないだろうか。

また、年齢が上がるにつれ、「負担を感じる」が高くなると予想したが、実際には 40 歳代で 45.7%、50 歳代で 32.8%、60 歳代で 26.2%、70 歳代で 17.0%と年齢が高くなるにつれて低下していることがわかる。年齢が高いからといって、水運びを負担と感じているわけではないことがわかる。買い物を便利・不便と評価する対象として見ている回答者もいれば、買い物を生活するのに必須の習慣と考える回答者もいるだろう。買い物の文化的側面について考えさせられる。

では「負担を感じる」と答えた 79 名の、負担を感じる理由はどこにあるのだろうか。その結果が次のとおりである。

表 20.負担を感じる理由（複数回答）

	40～49歳(n=32)		50～59歳(n=21)		60～69歳(n=17)		70～79歳(n=9)		総計(n=79)	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
店までの距離が遠くて時間がかかるから	3	9.4%	3	14.3%	0	0.0%	2	22.2%	8	10.1%
運んで帰るのが面倒だから	15	46.9%	13	61.9%	9	52.9%	3	33.3%	40	50.6%
自動車や自転車、バイクから荷物を下ろしてから、家まで持って上がるのが面倒だから	10	31.3%	12	57.1%	7	41.2%	2	22.2%	31	39.2%
階段を上がるのが面倒だから	5	15.6%	1	4.8%	1	5.9%	1	11.1%	8	10.1%
重くて大変だから	25	78.1%	14	66.7%	9	52.9%	7	77.8%	55	69.6%
水に限らず買い物時間を捻出するのが大変だから	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

負担を感じる理由で各年代とも最も多いのが「重くて大変だから」で 40 歳代で 78.1%、70 歳代で 77.8%となっている。全体で次に多いのが「運んで帰るのが面倒だから」50.6%、「自動車や自転車、バイクから荷物を下ろしてから、家まで持って上がるのが面倒だから」が 39.2%と続いている。「店までの距離が長くて時間がかかるから」は 10.1%で少ない。負担感の第一は「重さ」、第二は「持って帰る面倒さ」であることがわかる。

では、その中でも最も負担に感じる理由は何なのだろうか。

表 20 で複数挙げてもらった回答の内、「最も負担に感じるのはどういう理由からですか」と質問した結果が次の通りである。

表 21.最も負担を感じる理由

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
店までの距離が遠くて時間がかかるから	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
運んで帰るのが面倒だから	5	15.6%	7	33.3%	5	29.4%	1	11.1%	18	22.8%
自動車や自転車、バイクから荷物を下ろしてから、家まで持って上がるのが面倒だから	6	18.8%	2	9.5%	5	29.4%	1	11.1%	14	17.7%
階段を上がるのが面倒だから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
重くて大変だから	21	65.6%	11	52.4%	7	41.2%	7	77.8%	46	58.2%
水に限らず重い物時間を捻出するのが大変だから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	32		21		17		9		79	

やはり「重くて大変だから」が 58.2%となっている。とにかく、「重さ」だけは運搬のために克服したい理由であって、意識の上では「面倒さ」や「距離」は二の次なことがわかる。

4.6.水を手に入れる頻度と入手量

水を水道以外から入手している全回答者は、どの程度の頻度で、1回当たりどの程度の量の水を手に入れているのだろうか。「あなたのお宅では、どのぐらいの頻度で水を手に入れますか」という質問に対する回答と、「あなたのお宅では、水を手に入るとき、一度にどのぐらいの量を手に入れますか。何リットルかでお答えください」という質問に対する回答をクロスした結果が、次の通りである。

表 22.水を手に入れる頻度と1回当たりの入手量

	0.5リットル(500ミリリットル)以下	1～1.5リットル	2～2.5リットル	3～5リットル	6リットル	7～11リットル	12リットル	13リットル～19リットル	20リットル	それ以上	総計	構成比
毎日	0	4	4	7	0	0	0	0	0	1	16	4.1%
週に4～6回	1	1	1	4	3	0	0	0	0	1	11	2.8%
週に2～3回	3	4	14	14	5	0	3	1	0	0	44	11.4%
週に1回	3	18	29	13	9	1	24	1	4	7	109	28.2%
月に1回	4	11	25	4	4	1	26	5	15	36	131	33.9%
それ以下	13	6	17	2	2	4	14	1	3	13	75	19.4%
総計	24	44	90	44	23	6	67	8	22	58	386	
構成比	6.2%	11.4%	23.3%	11.4%	6.0%	1.6%	17.4%	2.1%	5.7%	15.0%		

頻度については、「月に1回」が 33.9%、「週に1回」が 28.2%と続いている。量については「2～2.5リットル」が 23.3%と一番多いが、ばらついていることがわかる。

同じく頻度と入手場所をクロスした結果が、次の通りである。

表 23.水を手に入れる頻度と入手場所

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	個人商店	移動販売	宅配(生協等)	通信販売(テレビショッピング、ネット通販等)	その他	総計	構成比
毎日	9	0	0	0	0	0	0	7	16	4.1%
週に4～6回	8	2	0	0	0	0	0	1	11	2.8%
週に2～3回	36	3	3	0	0	0	0	1	44	11.4%
週に1回	75	4	6	1	0	10	0	8	109	28.2%
月に1回	58	4	8	0	0	20	0	38	131	33.9%
それ以下	30	1	1	0	0	7	0	25	75	19.4%
総計	216	14	18	1	0	37	0	72	386	
構成比	56.0%	3.6%	4.7%	0.3%	0.0%	9.6%	0.0%	18.7%		7.3%

スーパーでの入手者の多くが「月に1回」、「週に1回」と回答していることがわかる。

4.7.これからも水道水以外の水を手にし続けるか

さて、水道水以外の水を手にし続けてきた回答者は、これからも水道水以外の水を手にし続けるのだろうか。「あなたは、これからもご自宅で飲むために水道水以外の水を手にし続けますか」という質問に対する結果が、次の通りである。

表 24.これからも水道水以外の水を手に入る回答者数

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
入手し続ける	87	87.0%	82	82.0%	89	89.0%	57	66.3%	315	81.6%
そろそろやめようと思っている	9	9.0%	15	15.0%	9	9.0%	20	23.3%	53	13.7%
その他	4	4.0%	3	3.0%	2	2.0%	9	10.5%	18	4.7%
総計	100		100		100		86		386	

過去ではなく将来について尋ねたこの質問について、全体では81.6%が「入手し続ける」と答えている。

年齢別に見ると、40歳代から60歳代までは82%～89%が「入手し続ける」と回答しているが、70歳代のみは「入手し続ける」が66.3%となっている。

70歳代の「入手し続ける」が66.3%とはいえ、全体としては8割以上の回答者がこれからも水道水以外の水を手に入ると答えている。これは高水準と言えるだろう。

では13.7%の「水道水以外の水の手入を、そろそろやめようと思っている回答者」は、水道水飲用者に戻るのだろうか。「(やめようと思っている方に) やめた後は、水道水を飲みますか」という質問の結果が次の通りである。

表 25.水道水以外の水の手入をやめた後の水道水飲用の有無

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
飲む	8	88.9%	10	66.7%	7	77.8%	18	90.0%	43	81.1%
飲まない	1	11.1%	5	33.3%	2	22.2%	2	10.0%	10	18.9%
総計	9		15		9		20		53	

全体で見ると43名、81.1%の回答者が水道水を「飲む」と回答している。

その理由について質問した結果が、次の通りである。

表 26.水道水を飲む（複数回答）

	実数	構成比
水道水は安全だから	23	53.5%
水道料金のほうが安いから	21	48.8%
運ぶのが大変だから	10	23.3%
その他	2	4.7%
総計	43	

「運ぶのが大変だから」と答えたのは10名のみで、一番多かったのが「水道水は安全だから」で53.5%であった。これまで何らかの理由で水道水を飲んでこなかった回答者だが、そろそろ水道水を飲もうという理由が「水道水は安全だから」というところに、集合住宅における水道飲用水の問題が垣間見える。